

1. MPNドキュメントの改訂など

これまでにQR規格検討会および活用検討会で決定された内容をMPNの仕様に反映するため、既存ドキュメントの改訂および新規ドキュメント作成を行います。

(1) (仮称) 地方税統一QRコードを利用する帳票について

MPN標準帳票ガイドラインの付属資料として新規作成します。

標準帳票ガイドラインおよび本文書は地方税共同機構に開示します。MPNに収納機関登録されていない地方団体は、同機構から同ガイドラインを入手してください。

(2) MPNサービス仕様書、同別冊地公体業務編（改訂）

税目・料金番号の追加、賦課税目の納付区分に地方公共団体情報を追加することを反映させます。

(3) MPNインタフェース仕様書（改訂）

これまで未定としていた「入力区分」について、新規設定値（06：QR）としたいと思っています。また、QRコード破損時に券面情報にもとづきデータを作成する際は（01：マニュアル入力）を設定するとしています。

2. レコードフォーマットQAの更新

レコードフォーマットQAに、QRコード破損時の取扱いを追記しました。

3. eLTAXとの連動試験

必要な試験について、地方銀行協会および第二地方銀行協会の全行説明会でご説明したものです。

1. MPNドキュメントの改訂など

(1) (仮称) 地方税統一QRコードを利用する帳票について

内容

① 地方税QRコードが付された帳票に関する取扱いの整理

- ・現在のMPN収納サービスでは、地方団体が金融機関窓口取扱納付書を発行し、金融機関で一括伝送方式で処理する場合は、地方団体にMPN標準帳票への移行を必須としている。
- ・ただし、地方税共同機構（MPNの収納機関番号13800）による共通納税システムを利用する収納については、地方税統一QRコードおよびeL番号を印字した帳票であれば、MPN標準帳票以外の帳票の使用も可能とする。
- ・MPN標準帳票以外の帳票を利用する場合は、金融機関における事務効率化にご協力いただきたく、MPN標準帳票に準拠する帳票（MPN準拠帳票）を使用いただくことを要望する。

② MPN登録金融機関での取扱いの整理

- ・地方税共同機構が収納事務を委託する金融機関においては、指定金融機関先、収納代理金融機関先の地方団体の納付書のみならず、全地方団体に係る地方税統一QRコードが印刷された納付書を受け付ける（参照：QR規格検討会取りまとめP11）。
- ・MPNに収納機関登録している地方団体の帳票を一括伝送方式で処理する場合、OCR読取かQR読取かは、金融機関の判断とする。

③ 地方税統一QRコードに関する技術的仕様

- ・地方団体は、地方税統一QRコードの企画に係る検討会および活用に係る検討会において取りまとめられたQRコードを、定められた位置に印字すること。
- ・地方団体は、地方税共同機構が定める記載ルール（eLマーク、eL番号など）に従うこと。

1. MPNDキュメントの改訂など

(1) (仮称) 地方税統一QRコードを利用する帳票について

④MPN準拠帳票に関する留意事項・取扱い

- ・MPN準拠帳票とは、MPN収納機関登録をしていない地方団体が、MPN標準帳票ガイドラインに沿って作成する帳票を指します。
- ・MPN準拠帳票を使用する際は、以下の事項を厳守してください。
 - ▶ ペイジーマークを印字しない
(ペイジーマークがあると、利用者に対して帳票記載の納付番号等で直接に金融機関のペイジー対応ATMやIBで支払いが可能と誤解を与える可能性があるため。)
 - ▶ 払込ID(70~79)を印字しない(IDの枠も印字しない)
(当該番号はゆうちょ銀行からペイジー収納用に発行された番号のため。)
 - ▶ 郵便局での収納取扱いを行なう場合は、必ず払込書(納付書)様式についてゆうちょ銀行の承認を受けること。

公開予定時期

2022年3月にMPN理事会に上記方針を報告、新規ドキュメントは4月に決定予定

公開方法

- ・MPN運営機構および推進協議会からMPN会員(金融機関、地公体、ベンダー)へ公開
- ・LTAから各地方団体へ展開いただく(MPN非会員地公体に提供いただくため)

1. MPNDキュメントの改訂など

(2)MPNサービス仕様書、同別冊地公体業務編

内容

①税目・料金番号の追加（地方税共同機構からの依頼）

- ・eLTAXでの取扱税目拡大に伴い、「税目・料金番号体系」へ複数の税目・料金番号追加する。適用開始日は、2023年4月1日とする。

＜追加する税目・料金番号＞

- | | |
|-----------|-----------|
| ①核燃料税 | : 138 |
| ②核燃料等取扱税 | : 139 |
| ③使用済核燃料税 | : 166 |
| ④法定外税（汎用） | : 145～147 |
| ⑤集合納付（汎用） | : 148～150 |
| ⑥分割納付 | : 179 |

②賦課税目の納付区分に地方公共団体情報を追加（地方税共同機構からの依頼）

- ・（仮称）NFdeskを利用して、すべての地方団体の賦課税目（納付書を用いる収納）を共通納税システムに対応させるために、MPN電文のデータ項目である「納付区分」において、共通納税システムを利用して納付する賦課税の税目・料金番号(3桁)に地方公共団体情報(5桁)を追加する。適用開始日は、2023年4月1日とする。

1. MPNDキュメントの改訂など

(2)MPNサービス仕様書、同別冊地公体業務編

③一括消込データのMPNセンタへの送信時限の変更【内部検討中】

- ・地方税収納では、ピーク日に取扱いが鋭く集中する。
- ・MPNセンタでは、一括伝送データの取込処理をクリアリング処理開始時間（0:40）までに終了させる必要があるが、ピーク日でも後続のクリアリング処理が安全に開始できるように、金融機関から一括伝送データの送信を完了していただく時限を設けること等について検討中。

公開予定時期

- ①2022年3月に改訂内容をMPN理事会で審議予定。
- ②2022年1月に改訂内容をMPN理事会で審議済み。
 - ①②の内容をあわせた改訂版ドキュメントは5月に決定予定。
- ③MPNセンタにおいて詳細を検討中。送信時限を設ける必要があると判断した場合は速やかに関係者（MPN登録金融機関、地方税共同機構）に報告する。

公開方法

MPN運営機構および推進協議会からMPN会員（金融機関、地公体、ベンダー）へ公開

1. MPNDキュメントの改訂など

(3)MPNインタフェース仕様書

内容

①入力区分の設定値の追加

地方税統一QRを使用する場合の設定値を新設する。

<現在の設定値>

01 : マニュアル入力 02 : O C R (03 : バーコード)

06 : QR (下線の設定値を追加する)

<運用方針>

- ・地方税統一QRコードを読取る場合は、「06 : QR」を用いる。
- ・QRコード破損時に、金融機関が納付書の券面情報にもとづき、一括消込データを手入力する場合は「01 : マニュアル入力」を使用する。この場合、一括消込データに設定する83桁情報に含まれる2か所のチェックデジット（各2桁）は固定値「99」を設定する。
- ・QRコード破損時に、金融機関が地方団体から83桁情報やQRコード情報を受領し、その情報から一括消込データを作成する場合は「06 : QR」を用いる。この場合、チェックデジットは地方団体作成値をそのまま一括消込データに設定する。

②金融機関が複数の金融機関のサブファイルを送信すること

- ・現在、「金融機関共同利用センタ、業態センタ」の場合に、複数の金融機関のサブファイルをまとめて送信することを可能としている。
- ・これを「金融機関」も複数の金融機関のサブファイルをまとめて送信することが可能であるとす。

1. MPNDキュメントの改訂など

(3)MPNインタフェース仕様書

内容

③金融機関店舗コード【運用方針】

- ・現在、金融機関店舗コードの使用は必須ではなく、未使用時はオールゼロとしている。地方税統一QRの運用が始まってでも当仕様は変更しない方針とする。
(MPN収納機関登録済み地方団体に確認する。)

④チャネル区分2【運用方針】

<現在の設定値>'スペース': 窓口 02 : A T M (名称について変更を検討する)

- ・本項目は、一括伝送方式で処理された納付について、利用者の手元に領収印が押された納付書がある(窓口で受付けたもの)か、ないか(ATMでOCR読取されたもの)かを、地方団体が確認するために利用する項目である。
- ・その趣旨から、一括伝送方式で処理され、利用者の手元に領収印が押された納付書が残らない方式(※)は全て「02」を利用する方針とする(MPN収納機関登録済み地方団体に確認する)。
(※)店頭で金融機関が設置するタブレットを利用する一括伝送方式、利用者が所有するPCやスマホなどのリモートチャネルを利用する一括伝送方式について事務局に照会が来ているが、これらの場合が「02」に該当する。
- ・なお、「02」の名称について、コード値はそのままとし、分かり易い名称へ変更することを検討する。

1. MPNDキュメントの改訂など

(3)MPNインタフェース仕様書

公開予定時期

①②④

2022年3月にMPN理事会に上記改訂方針を報告、改訂版ドキュメントは5月に決定予定

③

2022年3月にMPN理事会に上記運用方針を報告

公開方法

MPN運営機構および推進協議会からMPN会員（金融機関、地公体、ベンダー）へ公開